

7mスローに関する判断基準

<基本的事項>

1 「明らかな得点チャンス」であるか？

○競技規則解釈 6 a

2 ボールと身体をコントロールしているか

○防御側プレーヤーに違反があっても・・・

3 防御側プレーヤーがゴールエリア内に侵入しているか あるいは 防御側プレーヤーの接触がゴールライン上なのか、外側なのか？

○競技規則 6 : 2 (C)



4 攻撃側プレーヤーに違反はないか？

○防御側プレーヤーとの位置関係を把握すること

5 7mスローを判定した時の罰則

★常に罰則が伴うわけではない

○8 : 2 8 : 3 の判断基準に合わせて

- ・ゴールエリア内で正対
- ・ボールに対してプレーしようとする
- ・攻撃側プレーヤーをつかむが、すぐにやめる

★罰則が伴うのは

○8 : 3 8 : 4 8 : 5 の判断基準に合わせて

- ・明らかに押す/強く押す
- ・ボールに対してプレーしようとしていない
- ・攻撃側プレーをつかみ続ける

レフェリーの任務

1 ゲームの進化に伴って、レフェリーに要求されること

- アスリートとしての身体能力
- スピードに対応できる脚力
- 身体的、精神的にすぐれている
- 観察力、集中力
- 敏捷性、反射神経

2 レフェリーの走法

★どこを走るべきか？

- 「攻撃側は、ボールの所持を失えば、直ちに自陣へ帰陣する」という考え方は古い
.....コート上から目が離せない



3 速攻時の正しい観察方法

<コートレフェリーからゴールレフェリーへ>

- 第1線より先を走り、攻防の様子を確認する
- 速く走ることよりも、観察を優先する

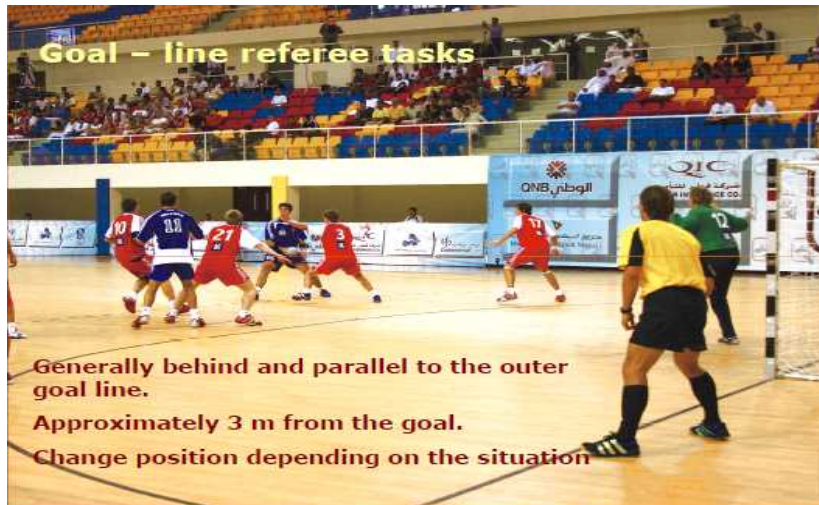
<ゴールレフェリーからコートレフェリーへ>

- 自分の背後に、「倒れている選手」「両チームのコートプレイヤー」を絶対に置かない
- ゴールされたボールから決して目を離さない
※ゴールインの笛は、次の攻撃のスタートの合図の笛である

4 位置取り

○ゴールレフェリーの基本位置は

- ・アウターゴールラインに平行で、ゴールポストから3mくらい離れた場所



○サイドシュートの観察



○コートレフェリーの基本位置



○コートレフェリーにとって大切なこと

- ・攻防に合わせて、いい位置を常に求め、移動すること。
- ・積極的に目や身体でプレーを追いかける。一般的には、攻防を真後ろから観察しないこと。
- ・問題が起こりうる場所を予測し、的確に観察できる位置につく。

5 ゼスチャー

- ゼスチャーは「必要なときに」用いる。プレーヤーにとって大切なのは、方向指示である。
- ゴールエリア侵入や、ゴールエリア内に転がっているボールに触れた場合は、レフェリーは明確に「ゴールキーパーズロー」のゼスチャーを示す。
- ゴールキーパーズローによって再開される場合は、レフェリーはゼスチャーを必ず用いる。これは、ゴールキーパーがボールを、すみやかにプレーイングエリアに戻さなければならないことも意味する。

レフェリーウォッチング

